

海老名市公共施設再編（適正化）計画に関する 市民ワークショップにおける意見のまとめ

令和4年12月12日

「公共施設再編」を検討する上でのポイント

キーワード 『バランス』	地 域	世代間	年 代	負 担
-----------------	-----	-----	-----	-----

●地域に応じた再編のバランス

- 海老名市は地域によって、状況がさまざま。商業が盛んで市外からも人が集まる地域もあれば、緑豊かで自然を感じられる地域もある。それぞれの地域の魅力を活かし市内バランスをみながら、地域住民にあった施設やサービスを考える必要がある。

●世代間の公平のバランス

- 経済成長とともに歳をとっていい思い出をしてきた世代とこれからの世代間の公平性を保つべき。公共施設については、過度な負担が引き継がれないことが大切。次の世代へ魅力ある資産づくりを。

●年代間のバランス

- 高校生は放課後の自習スペース、働く世代は休日や夜間に趣味の活動ができる施設、シニア世代は家の近くで日中に活動できるスペースが必要など、年代によって求めるものが違う。

●利用者負担のバランス

- サービスレベルをあげて利用料をとるなど、発想の転換や工夫が必要。
- 公共施設にかかる費用負担の公平性（利用する人としない人）も考えるべき。

キーワード 『連携』	行政と市民	民 間	近隣自治体	組織間
---------------	-------	-----	-------	-----

●行政と市民の連携

- 行政はいろいろなサービスを提供しているが、なんでもやってもらう必要はなく、「自分たちでできることは自分たちでやる」ということもできると思う。

●民間との連携

- 図書館とツタヤがうまくいっている例もある。こういう例が広がるといい。
- 複合施設にする際に、民間企業（福祉事業者、医療関係者なども含む）にはいつてもらったり、民間と連携して必要なサービスを確保することも考えられる。

●近隣自治体との連携

- 必ずしも海老名市だけで完結する必要はない。隣の自治体のストックもうまく活用することを考えてもいいのではないか。

●組織間の連携

- 施設の再編・再構築ということは、既存の仕組みを見直すことでもあるので、縦割り構造を解消して、行政・民間・市民、みんなで作っていききたい。

「複合化」の効果と留意点

キーワード	世代間交流	管理・運営	使い合う
	セキュリティ	負担軽減策	庁内体制

意見が多かった
複合化案

小学校

- + コミセン
- + 学童
- + 保育園
- + 老人福祉施設 等

期待できる効果

●世代間交流

- ・ 多様な施設が集約されることで、さまざまな世代と触れ合うことができる場となる。
- ・ 放課後、大学生や高校生が自習しながら小中学生の宿題をサポートするなど新たな交流も期待
- ・ 複合施設に人がいることが見守りにつながることも期待できる。

●管理・運営の効率化

- ・ 限られた人材をシェアすることで効率化できる。
- ・ 管理運営を一元化できれば、運営時間の見直しもできる（運営時間を延ばす、時間をあわせる等）。

●機能・スペースを使い合う

- ・ 空き教室、音楽室、家庭科室、体育館、運動場等

留意点

●セキュリティの確保

- ・ 不特定多数の人が訪れる機会が増えるため、セキュリティの確保が重要

●教員の負担軽減策

- ・ 複合化することで、教員の新たな負担増にならないよう、学校関係者の意見を参考に、運営面等を含めた検討が必要

●庁内の横断的な体制

- ・ 所管部署が複数にわたる施設の横断的な管理運営体制の構築が必要

「統合」の効果と留意点

キーワード	適正化	コストダウン	交通
	設置場所	学校	魅力・サービスの向上

期待できる効果

●適正化

- ・ 人口及び予算における施設数量の適正化を図る。

●コストダウン

- ・ ハコものにかかるインシヤルコスト、ランニングコストを削減

留意点

●交通の確保

- ・ 移動距離が延びるため、交通面（移動手段）の配慮も合わせて検討が必要

●設置場所

- ・ みんなが行きやすい場所
- ・ 避難所や防災拠点の視点も重要

●学校

- ・ 小学校は、均一に配置されている利点（徒歩圏内）を活かし、地域の拠点化を検討
- ・ 中学校の統合については理解あり（自転車利用、私立校）

●魅力・サービスの向上

- ・ みんなが使いたいと思う施設になるよう魅力・機能を向上すべき

（ 予約がしやすい、Wi-Fi設備、カフェなどの憩い
スペース、夜間・土日運営、映え等 ）